



子どもの権利の実現と SDGs への取り組みを呼びかける ユニセフ・キャラバン・キャンペーン 鳥取県で開催（4 年ぶり 11 回目）

10 月 20 日（月）教職員向け「ユニセフ研修会」開催
10 月 21 日（火）岩美町内の学校 2 校で「ユニセフ教室」実施
知事・教育長とメッセージ交換

【2025 年 10 月 10 日 東京発】

公益財団法人日本ユニセフ協会（東京都港区、会長：高須幸雄）は、10 月 20 日（月）～21 日（火）に、「鳥取県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」を実施いたします。

ユニセフ・キャラバン・キャンペーンは、世界の子どもたちの現状やユニセフ（国連児童基金）の活動に関する知識・認識の普及・啓発を目的に 1979 年の『国際児童年』を記念してスタートしました。毎年全国の 11～12 ほどの道府県を訪れ、知事や教育長を訪問し、世界の子どもたちの現状の理解促進を図っていただくよう働きかけを続けています。併せて、学校の先生方及び教育委員会・教育庁の指導主事の方々等を対象とした「ユニセフ研修会」や、学校での「ユニセフ教室」を開催しています。

「鳥取県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」の実施は 1980 年、1987 年、1992 年、1996 年、2000 年、2004 年、2008 年、2012 年、2016 年、2021 年に続き、今回で 11 回目となります。

10 月 20 日（月）午後に、教職員を対象とした「ユニセフ研修会」を開催します。研修会では、世界の子どもたちを取り巻く現状やユニセフの活動について紹介するほか、「子どもの権利条約」や SDGs について、児童・生徒にどう伝え学校生活でどう活用していくかを、グループワークを交えながら考えます。

翌 10 月 21 日（火）は、午前に岩美町立岩美西小学校、午後に県立岩美高等学校を訪問し、「ユニセフ教室」を実施します。紛争や気候変動を中心に、世界の子どもたちが直面している課題について、写真や映像を用いて児童・生徒に授業を行います。授業の中では、水道が普及していないネパールの農村で子どもたちが家族のための水汲みに使っている真鍮製の水がめ（水を入れて約 15kg）や、マラリア予防のための蚊帳のほか、世界各地で使われている支援物資の実物などに、児童・生徒が実際に触れ、体験します。「子どもの権利条約」や SDGs（持続可能な開発目標）にも触れながら、これから目指す世界について考え、児童・生徒の一人ひとりが変化を生み出す主役として行動を起こすよう呼びかけます。

同日、岩美町立岩美西小学校でのユニセフ教室実施後には、学校内で、平井 伸治 知事および足羽 英樹 教育長とのメッセージ交換を行い、県内の皆さまからのユニセフへのご支援に対する感謝をお伝えします。併せて、世界の子どもたちが置かれている厳しい状況への理解をより広め、持続可能な世界の実現を目指すため、さらなる連携とお力添えをお願いする予定です。

報道機関の皆さまにおかれましては、注意事項をご参照のうえ、ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

月 日	時 間	行 事	ご取材 可否
10 月 20 日(月)	14:00 ～16:00	ユニセフ研修会 参加者：県内教職員（県内教職員・指導主事 40 人）	不可
10 月 21 日(火)	9:25～11:15	ユニセフ教室 開催校：岩美町立岩美西小学校 参加者：5～6 年生（36 名）	可
	11:20～11:40	平井 伸治 知事、足羽 英樹 教育長とのメッセージ交換 会場：岩美町立岩美西小学校	
	14:30～15:20	ユニセフ教室 開催校：鳥取県立岩美高等学校 参加学年：2 年生（52 名）	

* 取材をご検討いただけます場合、必ず県担当者様（下記参照）へ事前連絡の後、そのご指示のもとご取材ください。

お問い合わせ：（公財）日本ユニセフ協会 学校事業部

担当：金子・高円

TEL：03-5789-2014 / E-mail：se-jcu@unicef.or.jp

<重要> ご取材をご検討の場合は、県ご担当者様に事前連絡をお願いいたします。

鳥取県教育委員会事務局 高校学校課 板持 様

TEL：0857-26-7916 / E-mail：itamochit@pref.tottori.lg.jp

* * *

■ ユニセフについて

ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在約 190 の国と地域※で、多くのパートナーと協力し、その理念をさまざまな形で具体的な行動に移しています。特に、最も困難な立場にある子どもたちへの支援に重点を置きながら、世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。ユニセフの活動資金は、すべて個人や企業・団体からの募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています。（<https://www.unicef.org>）

※ユニセフ国内委員会（ユニセフ協会）が活動する 32 の国と地域を含みます

■ 日本ユニセフ協会について

公益財団法人 日本ユニセフ協会は、32 の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つで、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、アドボカシーを担っています。（<https://www.unicef.or.jp>）